

2022年（令和4年）5月20日

藤沢市議会議員 各位

藤沢市災害対策本部長
鈴木 恒夫
(公印省略)

令和4年度藤沢市水防訓練の実施について

青葉の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より本市の防災行政につきまして、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、これからの梅雨期や台風シーズンを迎えるにあたり、本市水防体制の整備を図るため、次のとおり訓練を実施いたします。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、是非、ご参観くださいますようご案内申し上げます。

- 1 日 時
2022年（令和4年）5月27日（金）
14時00分から16時00分まで（小雨決行）
- 2 場 所
藤沢市石川3417-1 藤沢市消防防災訓練センター
- 3 実施内容
別添「令和4年度藤沢市水防訓練実施要領」のとおり

以 上

事務担当 防災安全部 危機管理課
澁谷（内線2445）

令和4年5月27日 災害対策等特別委員会視察資料

令和4年度 藤沢市水防訓練実施要領



防災安全部 危機管理課

目 次

1	藤沢市水防訓練実施要領	1
2	水防訓練参加者数	3
3	訓練会場案内図及び訓練会場付近図	4
4	訓練会場配置図	5
5	水防訓練タイムスケジュール	6
6	各訓練の概要	
6-1	動員訓練及び災害対策本部設置訓練	7
6-2	新採用職員の土のう作成による低地浸水防ぎょ訓練	8
6-3	ドローンによる情報収集・整理訓練	10
6-4	消防団によるFRPボート組立訓練	11
6-5	機動班による排水ポンプを活用した内水排除訓練	12
6-6	消防部隊による救出救助訓練	13
6-7	仮設人道橋設置訓練	14
6-8	遠距離送・排水システム車を活用した排水訓練	15
6-9	閉会式	16

藤沢市水防訓練実施要領

1 目的

集中豪雨及び台風などに備え、発災時に迅速かつ的確に対応するための訓練を行い、水防技術の向上と水防態勢の整備を図ることを目的とします。

2 日時

2022年5月27日（金）14時00分から16時00分まで（小雨決行）

※訓練参加者は、訓練開始10分前までに訓練会場に集合

※訓練中止については、当日午前9時までに決定します。

3 場所

藤沢市石川3417-1 藤沢市消防防災訓練センター

4 訓練参加機関

(1) 藤沢市建設業協会

(2) 藤沢市消防団

(3) 藤沢市（災害対策本部員・消防局・新採用職員・地区防災拠点本部防災担当職員・本部事務局職員）

5 協力

(1) 藤沢エフエム放送株式会社

(2) コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

(3) ダイードリンク株式会社

(4) 東京キリンビバレッジサービス株式会社

6 訓練想定

梅雨前線が関東地方沿岸に停滞中に、台風が接近。降雨が一段と強くなり、気象警報等が発表され、低地での浸水や河川の増水が進んできたことを想定します。

7 訓練項目（訓練実施順に記載、水防訓練タイムスケジュール参照）

(1) 動員訓練及び災害対策本部設置訓練

(2) 新採用職員の土のう作成による低地浸水防ぎょ訓練

(3) ドローンによる情報収集・整理訓練

(4) 消防団によるFRPボート組立訓練

(5) 機動班による排水ポンプを活用した内水排除訓練

(6) 消防部隊による救出救助訓練

(7) 仮設人道橋設置訓練

(8) 遠距離送・排水システム車を活用した排水訓練

8 訓練参加者の移動手段

(1) 公用車（駐車場に限りがありますので極力乗り合いをお願いします）

(2) 送迎バス

ア 災害対策本部員用マイクロバス及び新採用職員以外の訓練参加職員用マイクロバス

(ア) 出発時間

13時5分出発

(イ) 集合場所

本庁舎サンライズ広場

イ 新採用職員用バス

(ア) 出発時間

13時5分出発

(イ) 集合場所

藤沢市民会館車寄せ

※ バスを利用される職員の方は、時間厳守をお願いします。

※ 新採用職員用バスの帰庁については、本庁舎地下車寄せとなります。

9 服装

(1) 災害対策本部員及び市職員

ヘルメット・防災服上下・編上げ靴（又は半長靴）・手袋（軍手等）とし、腕章の取扱いについては、次のとおりです。

ア 災害対策本部員（地区防災拠点本部長含む）

貸与済の腕章を各自持参

イ ア以外の職員

バス乗車時又は現地で配布

(2) 藤沢市建設業協会員

所属団体指定の作業服

(3) 消防局及び消防団

別に定めた作業服等

10 注意事項

(1) 会場までの出向時及び帰路時は、交通法規を遵守すること。

(2) 訓練中の私語は慎むとともに、各個人のごみ等は持ち帰ること。

(3) 外部団体も参加する訓練となることから、藤沢市職員として自覚ある行動を心がけること。

以 上

2 水防訓練参加者数

1) 災害対策本部

	本部員名等	人員
(1)	市長（本部長）	1人
(2)	副市長（副本部長）	2人
(3)	教育長（副本部長）	1人
(4)	総務部長	1人
(5)	企画政策部長	1人
(6)	財務部長	1人
(7)	市民自治部長	1人
(8)	生涯学習部長	1人
(9)	福祉部長	1人
(10)	健康医療部長	1人
(11)	保健所長	1人
(12)	子ども青少年部長	1人
(13)	環境部長	1人
(14)	経済部長	1人
(15)	計画建築部長	1人
(16)	都市整備部長	1人
(17)	道路河川部長	1人
(18)	下水道部長	1人
(19)	市民病院長	1人
(20)	市民病院事務局長	1人
(21)	消防局長	1人
(22)	教育部長	1人
(23)	議会事務局長	1人
(24)	市民センター長	11人
(25)	公民館長	2人
合 計		37人

2) 各地区防災拠点本部職員

	市民センター・公民館名	防災担当
(1)	六会市民センター	1人
(2)	御所見市民センター	1人
(3)	遠藤市民センター	1人
(4)	長後市民センター	1人
(5)	善行市民センター	1人
(6)	湘南大庭市民センター	1人
(7)	湘南台市民センター	1人
合 計		7人

3) 各指揮本部職員

	所 属	新採用職員	機動班	各部計
(1)	総務部	1人	—	1人
(2)	企画政策部	1人	—	1人
(3)	財務部	10人	7人	17人
(4)	防災安全部	1人	—	1人
(5)	市民自治部	8人	4人	12人
(6)	生涯学習部	1人	3人	4人
(7)	福祉部	10人	3人	13人
(8)	健康医療部	8人	—	8人
(9)	子ども青少年部	19人	1人	20人
(10)	環境部	6人	1人	7人
(11)	経済部	1人	2人	3人
(12)	計画建築部	5人	—	5人
(13)	都市整備部	4人	—	4人
(14)	道路河川部	4人	—	4人
(15)	下水道部	2人	—	2人
(16)	市民病院	1人	—	1人
(17)	教育部	7人	3人	10人
(18)	行政委員会	—	2人	2人
合 計		89人	26人	115人

※市民センター所属の新採用職員は、市民自治部に計上されていません。

4) 消防局及び消防団

	所 属 等	人員
(1)	消防局	30人
(2)	藤沢市消防団	24人
合 計		54人

5) 関係機関等

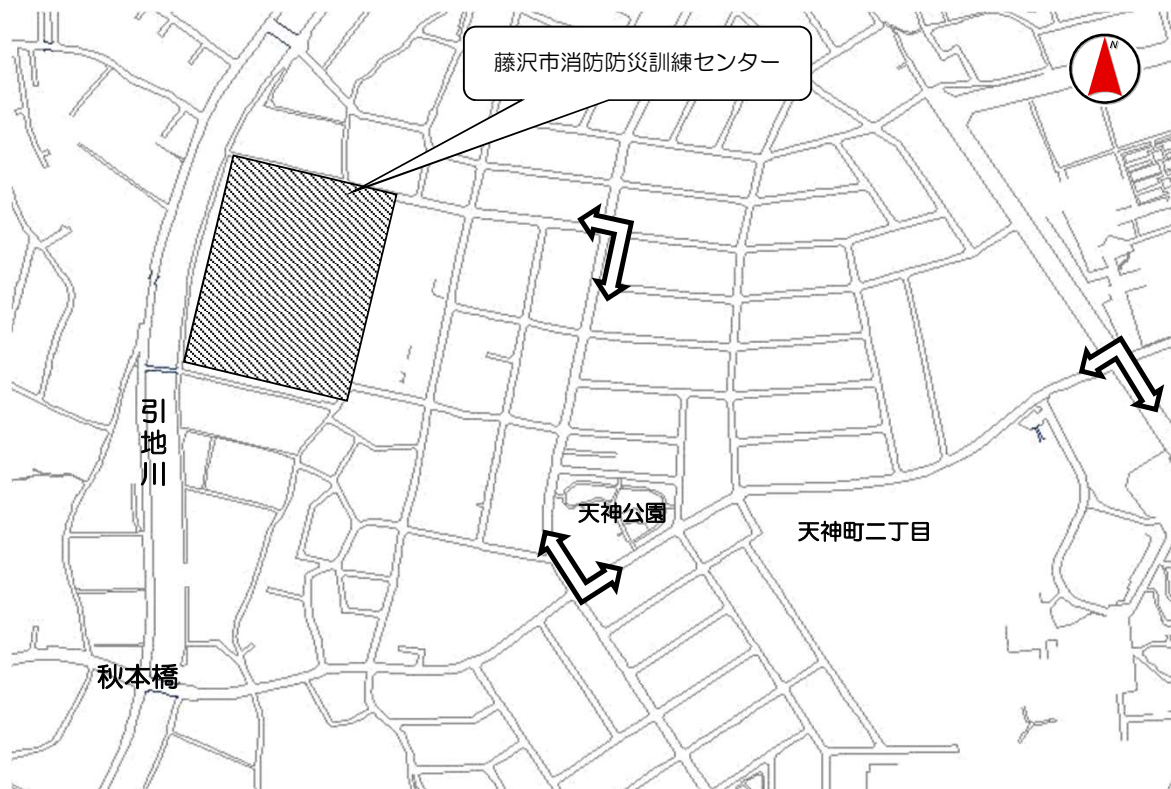
	所 属 等	人員
(1)	藤沢市建設業協会	40人
合 計		40人

6) その他

	所 属 等	人員
(1)	本部事務局（機動班除く）	20人
合 計		20人

総合計	273人
------------	-------------

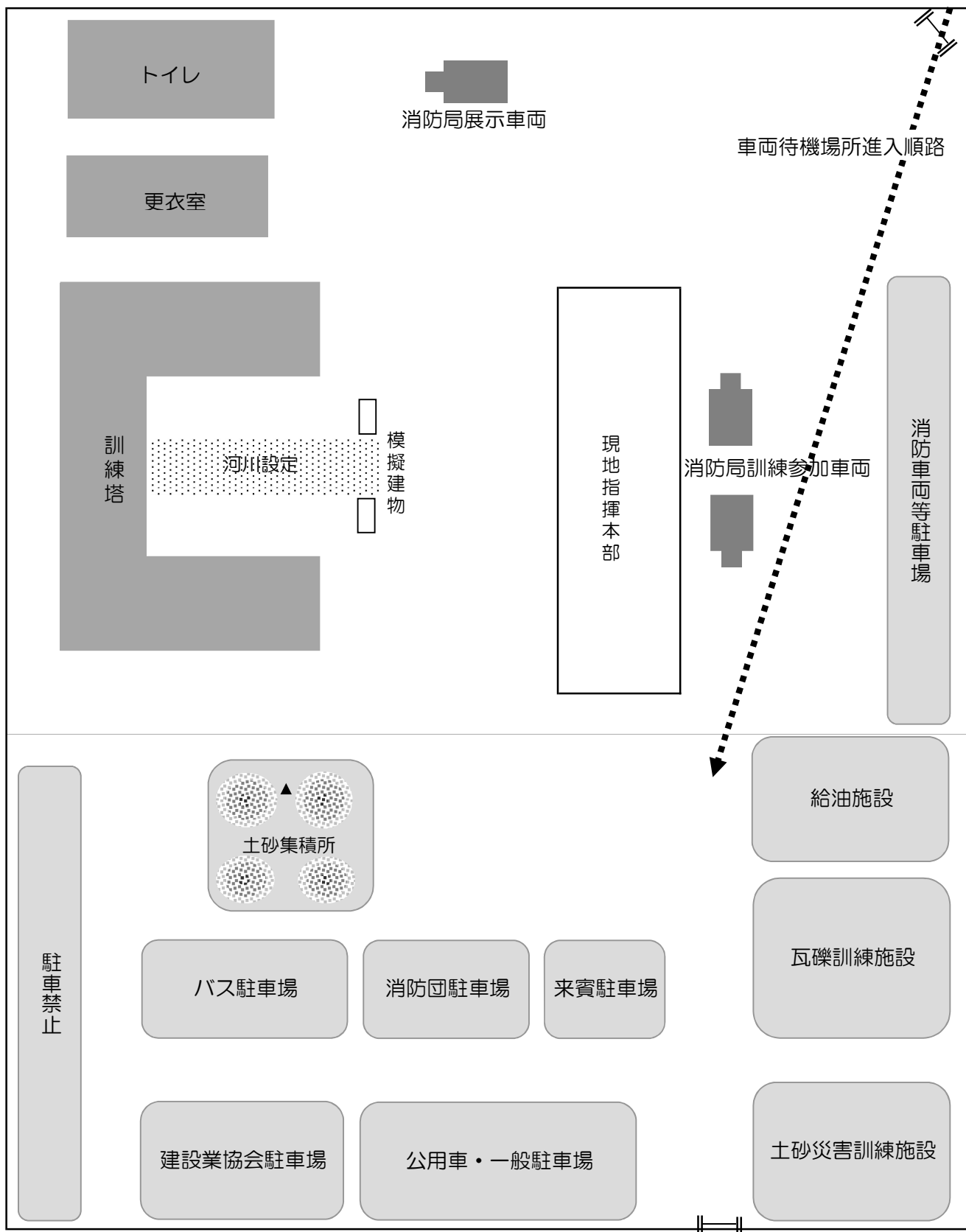
3 訓練会場案内図及び訓練会場付近図



(訓練会場付近図)



4 訓練会場配置図

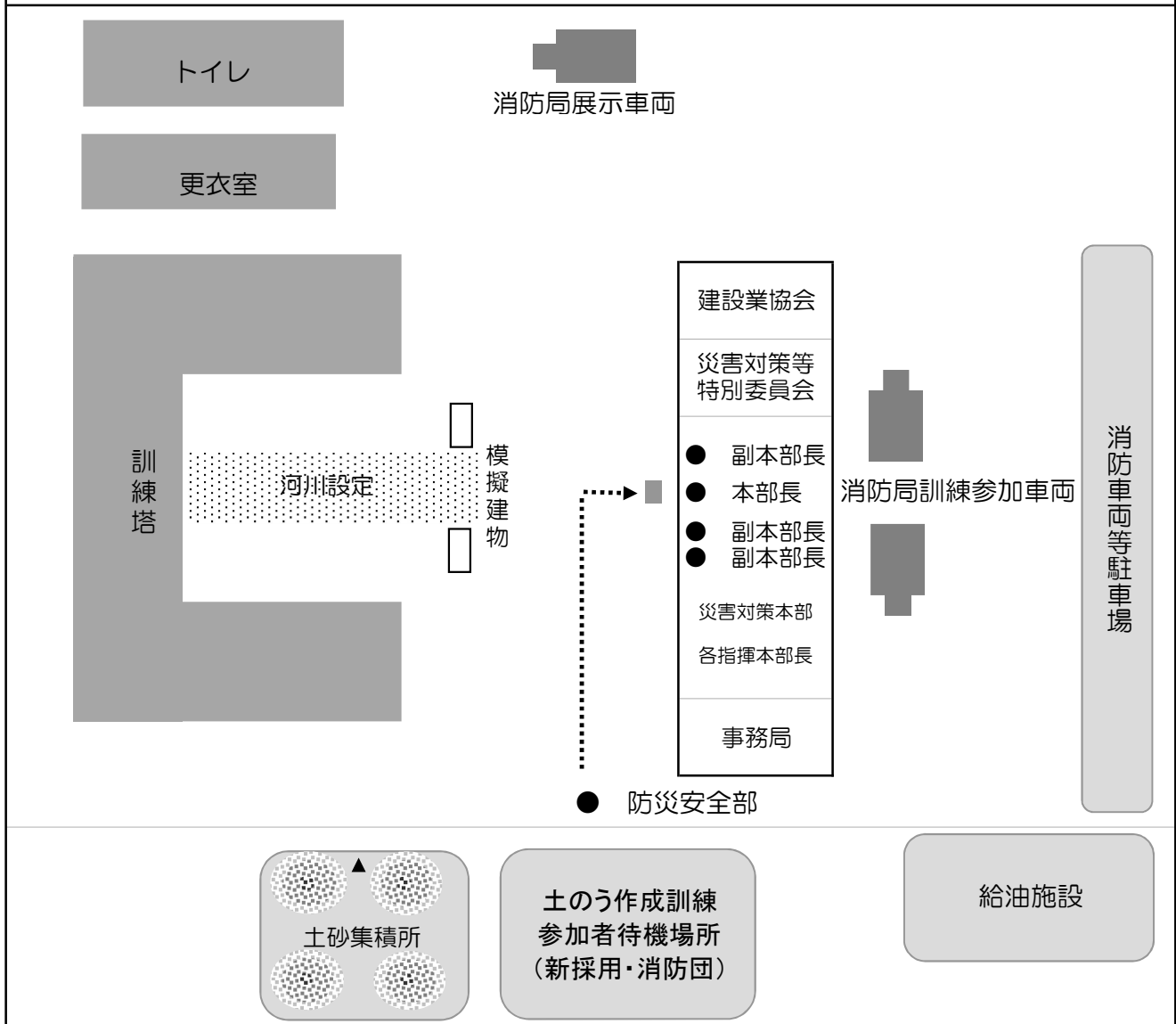


6-1 動員訓練及び災害対策本部設置訓練

- 1 開会式は実施せず、訓練参加者は、訓練開始10分前に下図のテント内に集合する。
集合完了をもって、動員訓練を終了とする。
- 2 事務局長（防災安全部長）は、本部長（市長）へ訓練開始報告を行う。
- 3 訓練開始報告をもって、災害対策本部を設置したこととし、災害対策本部設置訓練を終了とする。

【準備品】

- (1) 本部長用踏壇 (2) マイク及びマイクスタンド



6-2 (1) 新採用職員の土のう作成による低地浸水防ぎょ訓練（土のう作成）

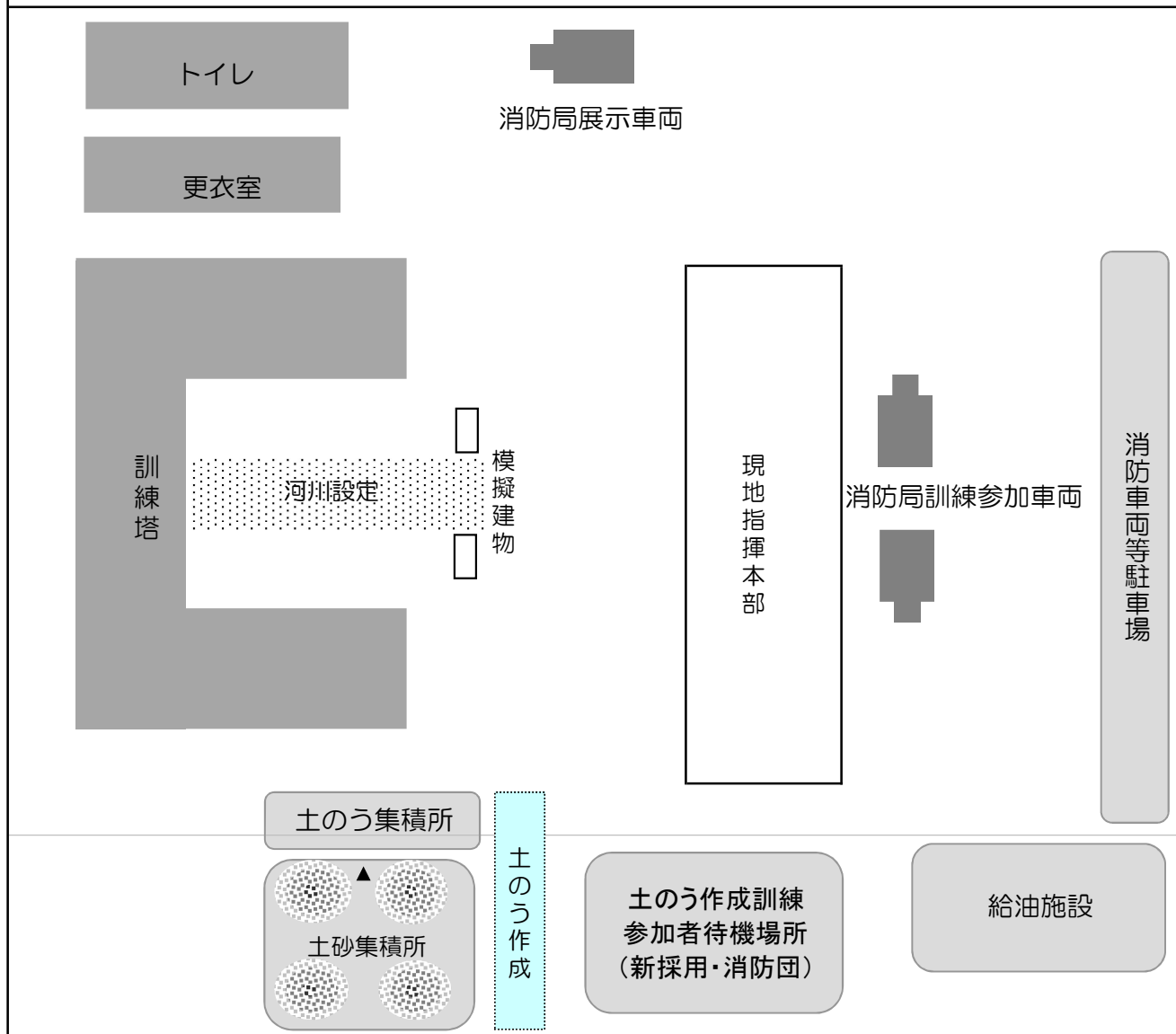
- 1 訓練参加者が土砂集積所に集合後、主任指導員は土のう作成について説明する。
- 2 説明終了後、土のう作成開始。土砂が無くなるまで作成する。消防団員も作成使役にあたる。
- 3 作成した土のうは、河川氾濫防止等訓練（土のう搬送、土のう積み）で使用する。
- 4 土のう積み訓練で使用する土のうは、模擬家屋2軒の前に各100袋。
- 5 土のう作成終了後、市職員は土砂集積所付近で待機する。
- 6 閉会式終了後、作成した土のう全てを、搬送業者のトラックに積載する。
- 7 訓練時間中に作成できなかった土のうは、訓練終了後に新採用職員が対応する。

【訓練参加者】

- (1) 市職員
- (2) 藤沢市消防団

【準備品】

- (1) スコップ 50本
- (2) 土のう袋 (6㎡、約700袋)
- (3) メガホン (指導用)
- (4) 参加者用軍手
- (5) ブルーシート



6-2 (2)新採用職員の土のう作成による低地浸水防ぎょ訓練(土のう搬送・土のう積み) 1回目
 (3)新採用職員の土のう作成による低地浸水防ぎょ訓練(土のう搬送・土のう積み) 2回目

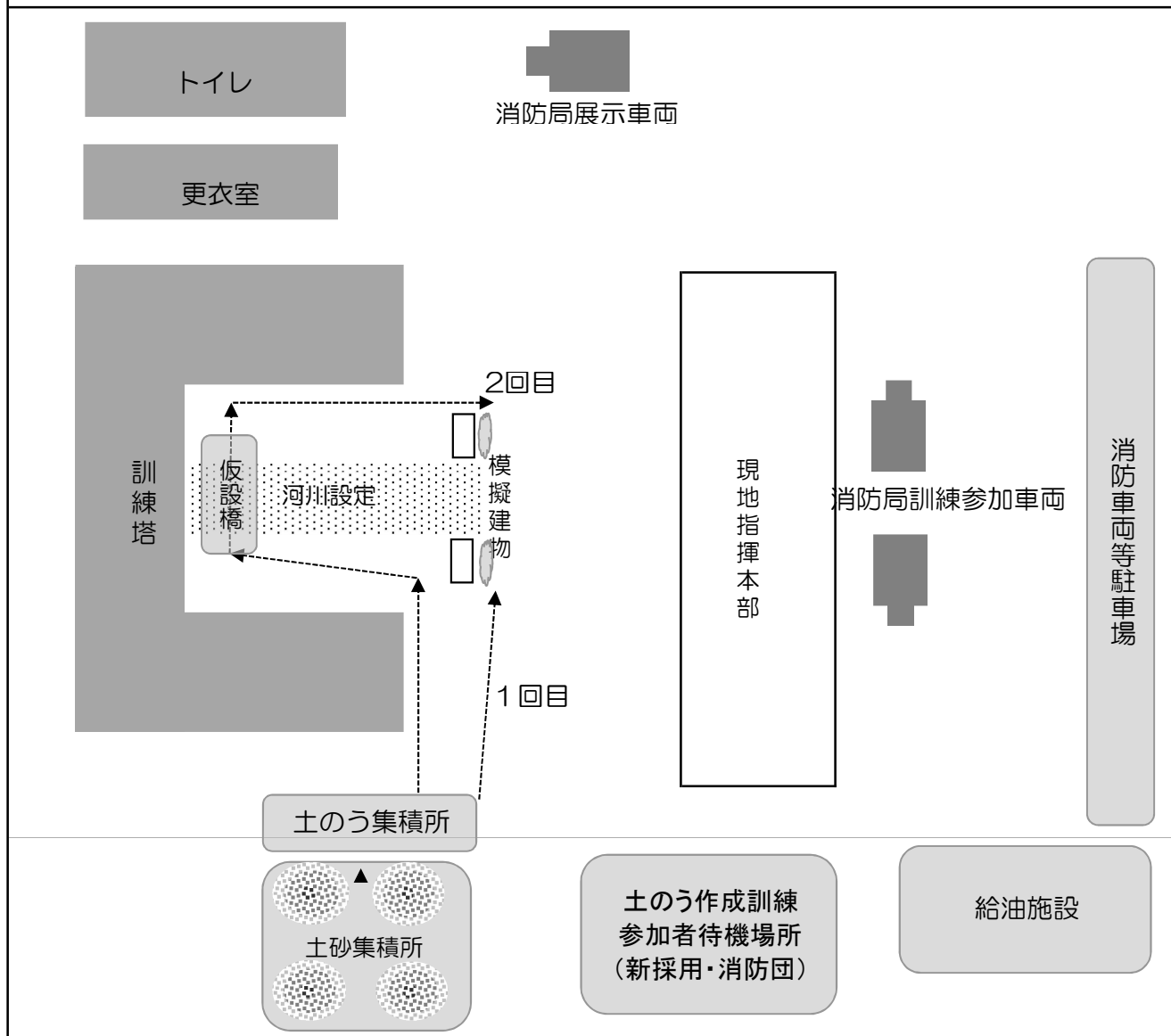
- 1 (1)低地浸水防ぎょ訓練(土のう搬送・土のう積み) 1回目
 6-2低地浸水防ぎょ訓練(土のう作成)で作成した土のうを下図の位置へ搬送し、積む。
- 2 使用土のうは、100袋程度とする。
- 3 (2)低地浸水防ぎょ訓練(土のう搬送・土のう積み) 2回目
 6-2低地浸水防ぎょ訓練(土のう作成)で作成した土のうを下図の位置へ搬送し、積む。
- 4 開始タイミングは、6-8 仮設人道橋設置訓練終了後に実施する。
- 5 使用土のうは、100袋程度とする。

【訓練参加者】

- (1) 市職員
- (2) 藤沢市消防団

【準備品】

- (1) メガホン(指導用)
- (2) 参加者用軍手



6-3 ドローンによる情報収集・整理訓練

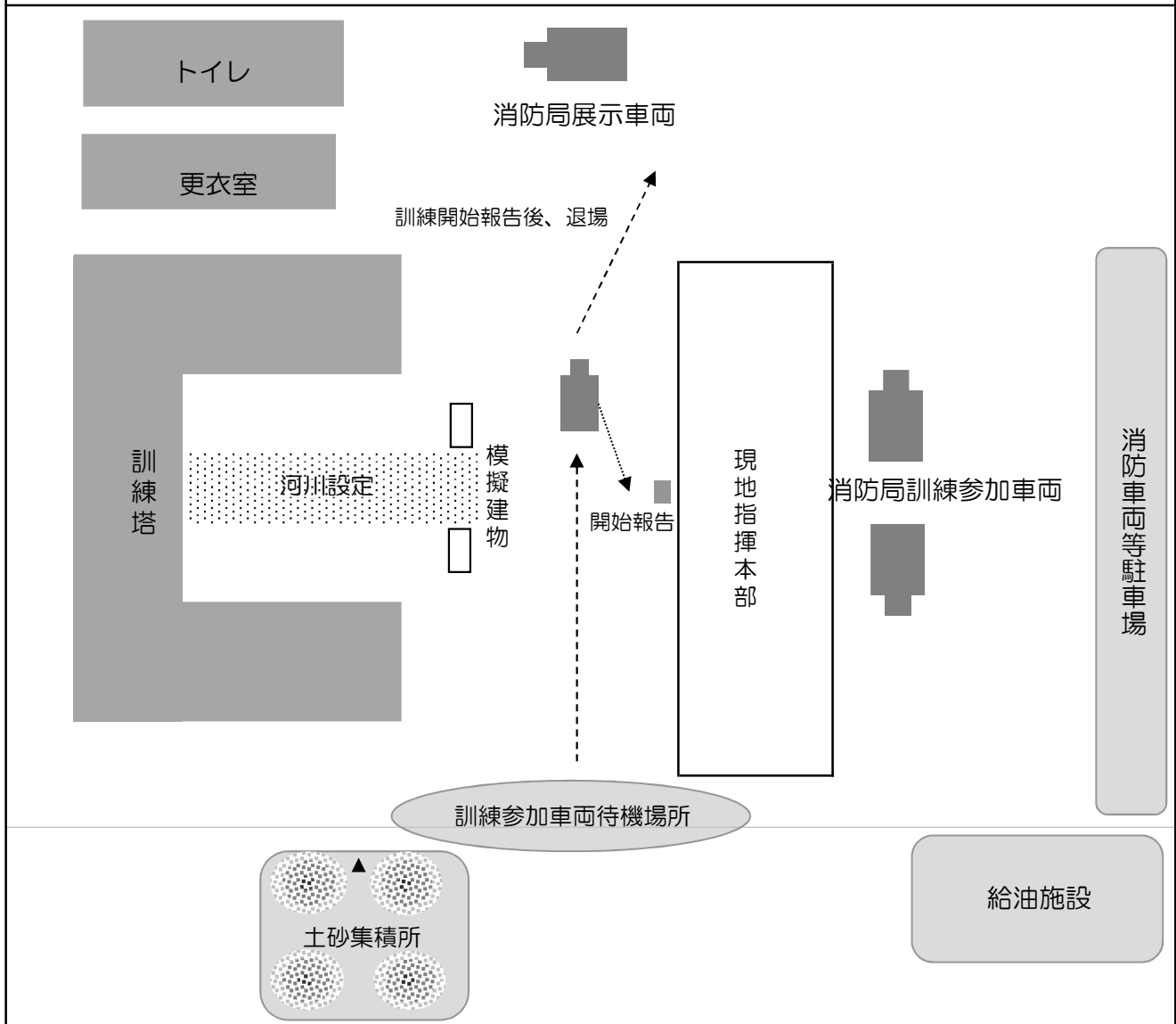
- 1 本部長の出動指令後、藤沢市建設業協会防災隊は車両で出動する。
訓練開始報告後、車両からドローン本体及びドローン操作員を残し、車両は移動する。
- 2 ドローンによる災害現場の確認・被害状況の確認を行う。あわせて災害対策本部との情報共有を行う。
- 3 ドローンからの映像は、災害対策本部付近に設置したテレビに映し出す。
- 4 訓練終了まで上空を飛行する。

【訓練参加者】

- (1) 藤沢市建設業協会
- (2) 災害対策本部事務局職員

【準備品】

- (1) 本部長用踏壇
- (2) マイク及びマイクスタンド
- (3) ドローン本体(3機)
- (4) モニター



6-4 消防団によるFRPボート組み立て訓練

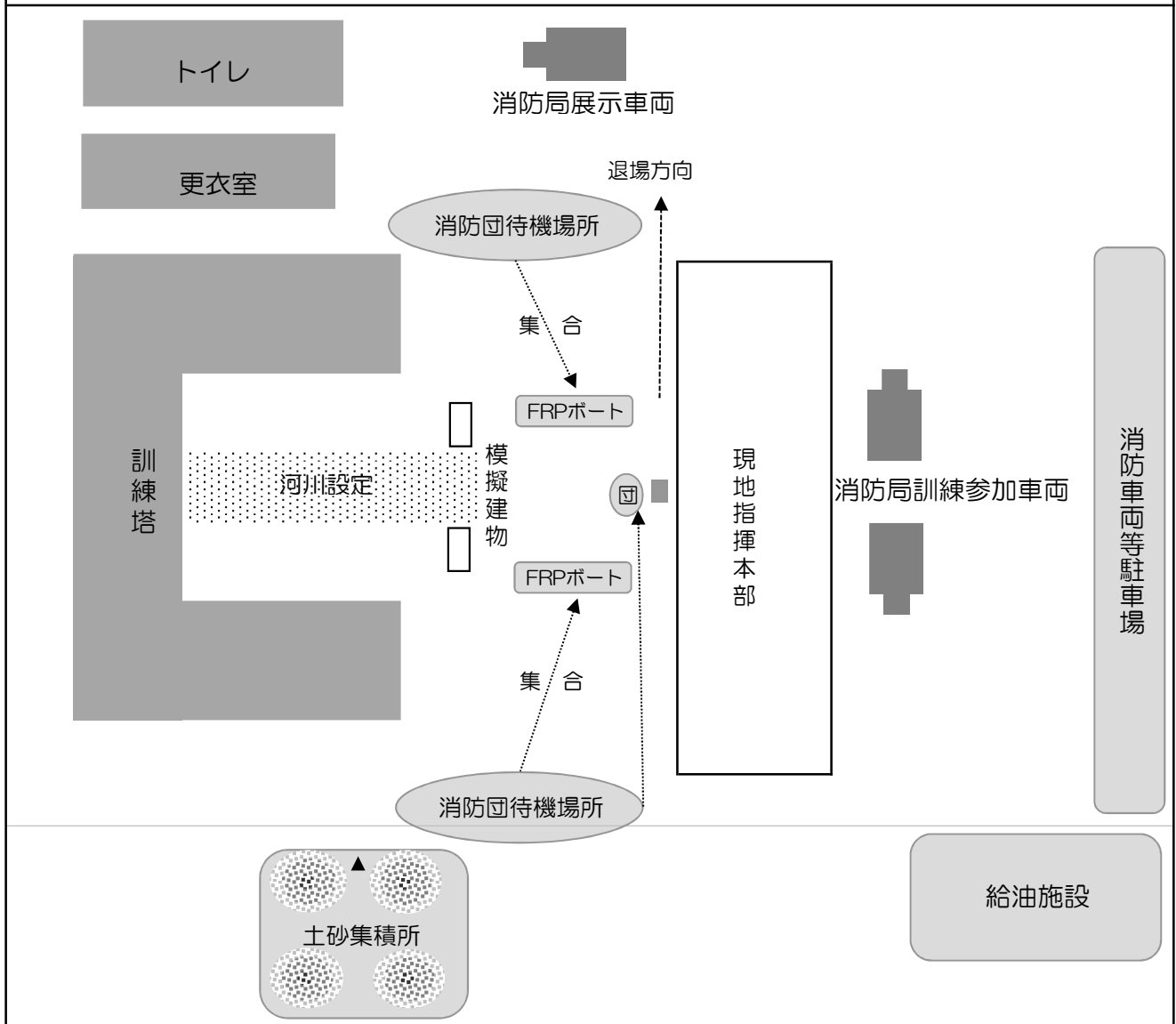
- 1 ボートは、事前設定とする。※ ボート下の板も同様
- 2 本部長の出動指令後、消防団本部の指揮のもと、消防団員を定位につかせる。
- 3 消防団本部の操作始めの号令により、組み立てを開始する。
- 4 組み立て完了後、本部長へ訓練終了報告を行う。
- 5 消防団本部の指揮のもと、ボートを持ち、退場する。

【訓練参加者】

藤沢市消防団 2個分団

【準備品】

- (1) 本部長用踏壇
- (2) マイク及びマイクスタンド
- (3) FRPボート 2艇
- (4) 90センチ×180センチ板 2枚



6-5 内水排除訓練（排水ポンプ操作）

- 1 機動班を3班編成とし、訓練を実施する。
1班＝中型排水P 2班＝大型排水P 3班＝車両積載中型排水P
- 2 本部長からの出動指示後、1、2、3班はポンプの操作訓練を開始する。
 - (1) 1班、2班は、模擬建物裏へ事前設置してある排水ポンプを本部席から見える位置に移動し、操作訓練を開始する。
 - (2) 3班は、車両から排水ポンプを降ろし、操作訓練を開始する。
 - (3) 水源は、模擬建物裏に仮設水槽を2基設置する。
- 3 全てのポンプを稼働後、ホース等を撤収し、下図退場経路にて退場する。
※排水ポンプ操作職員の段取り説明は、5月25日（水）実施予定のリハーサルで行う。

【訓練参加者】

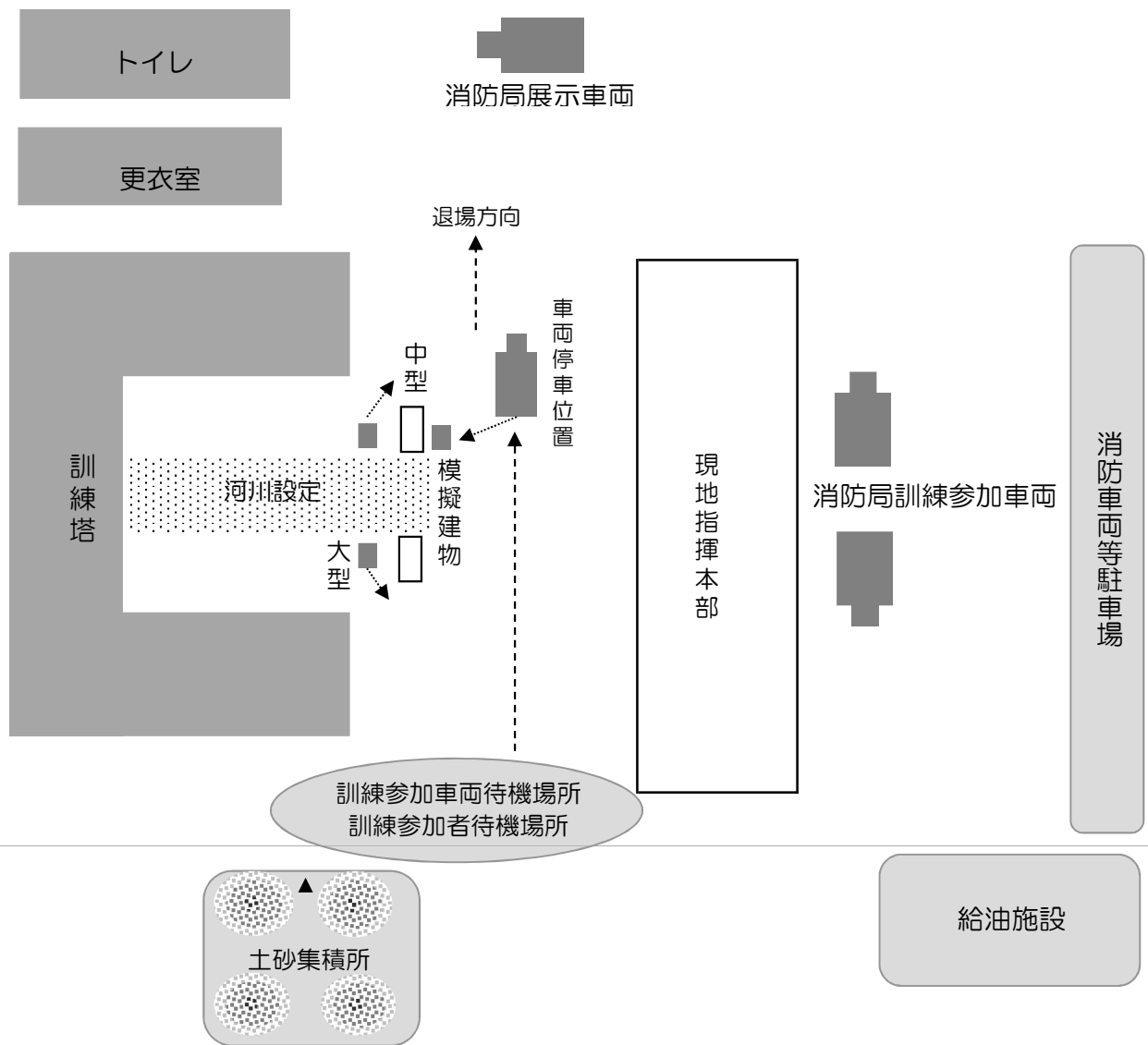
- (1) 機動班
- (2) 危機管理課防災対策員等

【準備品】

- (1) 排水ポンプ一式 大型1台 中型2台
- (2) 仮設水槽2基
- (3) 危機管理課資材搬送車

【準備品】

- (1) 本部長用踏壇
- (2) マイク及びマイクスタンド



6-6 消防部隊による救出救助訓練

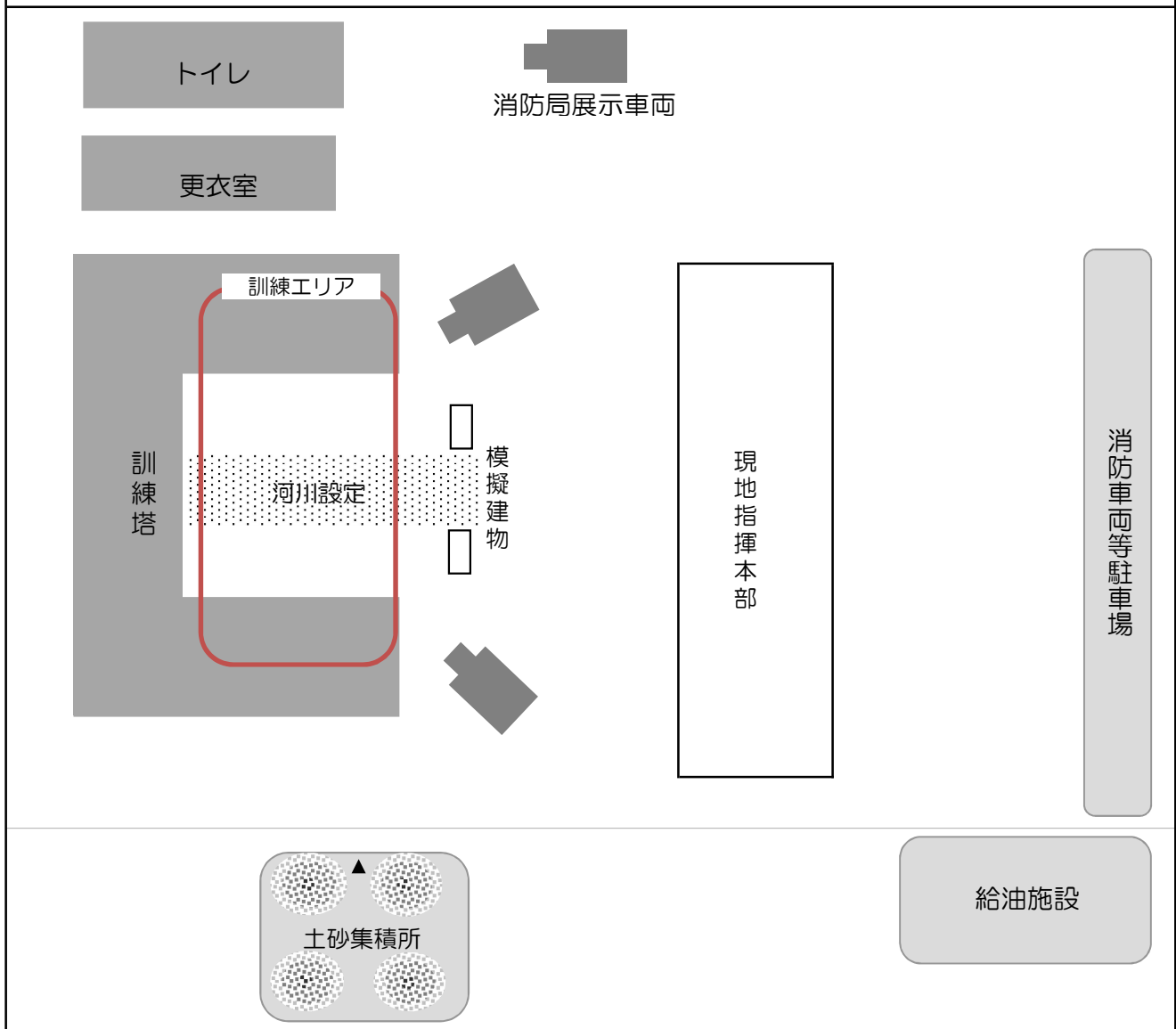
- 1 本部長からの出動指示後、車両2台で出動する。
- 2 訓練想定は、川の中州に要救助者1名が取り残されており、消防部隊による救出訓練を実施。
- 3 詳細な、実施要領は、消防局が別に定める。

【訓練参加者】

消防局

【準備品】

消防局が準備する。



6-7 仮設人道橋設置訓練

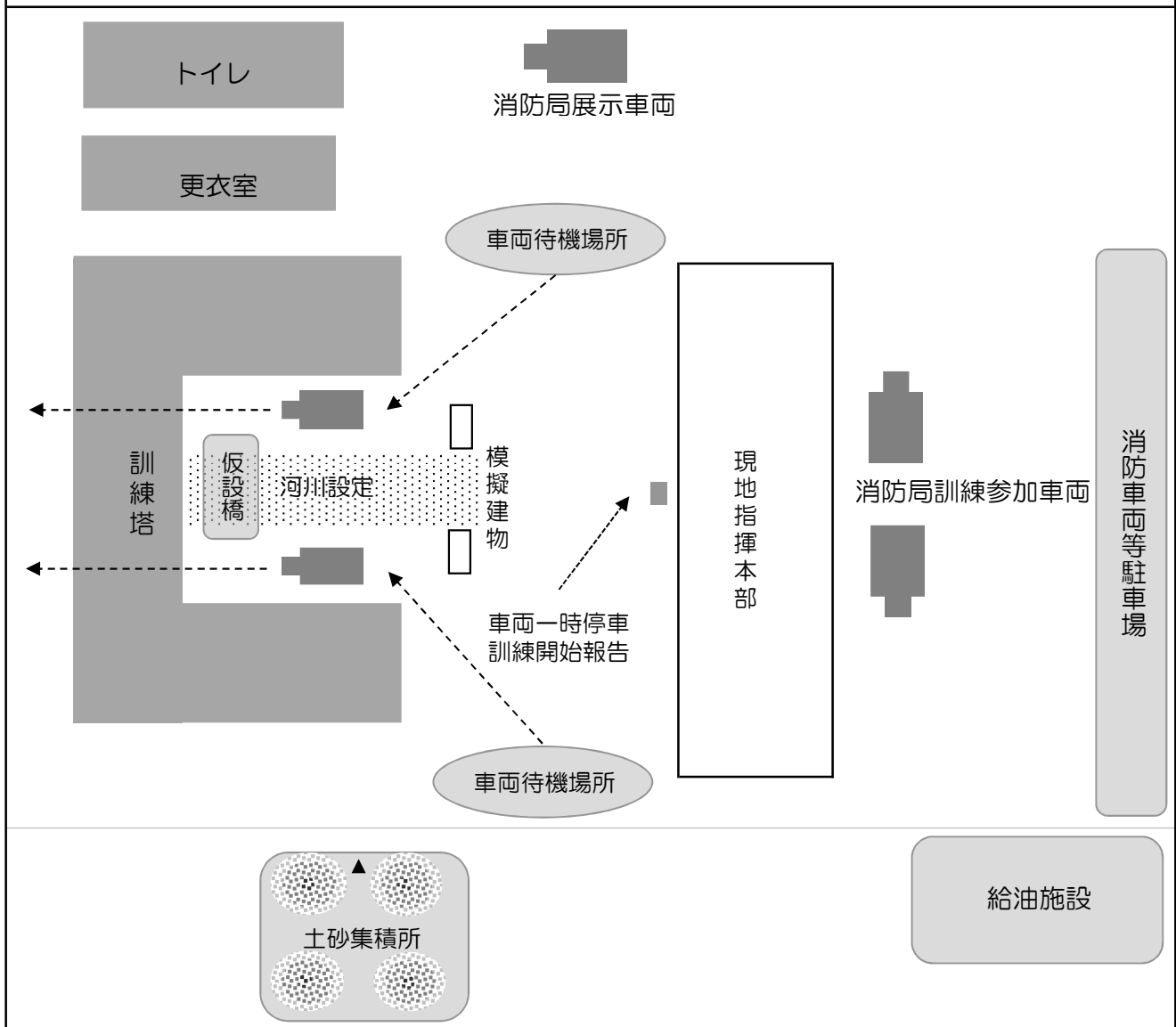
- 1 本部長の出動指令後、藤沢市建設業協会防災隊は車両で出動する。
- 2 事前に概ね設定してある仮設人道橋を完成させる。
- 3 仮設人道橋(1基、長さ8m×横1.5m)完成後、訓練終了報告を行う。
- 4 市職員による対岸への土のう搬送を開始する。

【訓練参加者】

- (1) 藤沢市建設業協会

【準備品】

- (1) 本部長用踏壇
- (2) マイク及びマイクスタンド
- (3) 仮設人道橋設置訓練に必要な物品は、藤沢市建設業協会が準備する。



6-8 遠距離送・排水システム車を活用した排水訓練

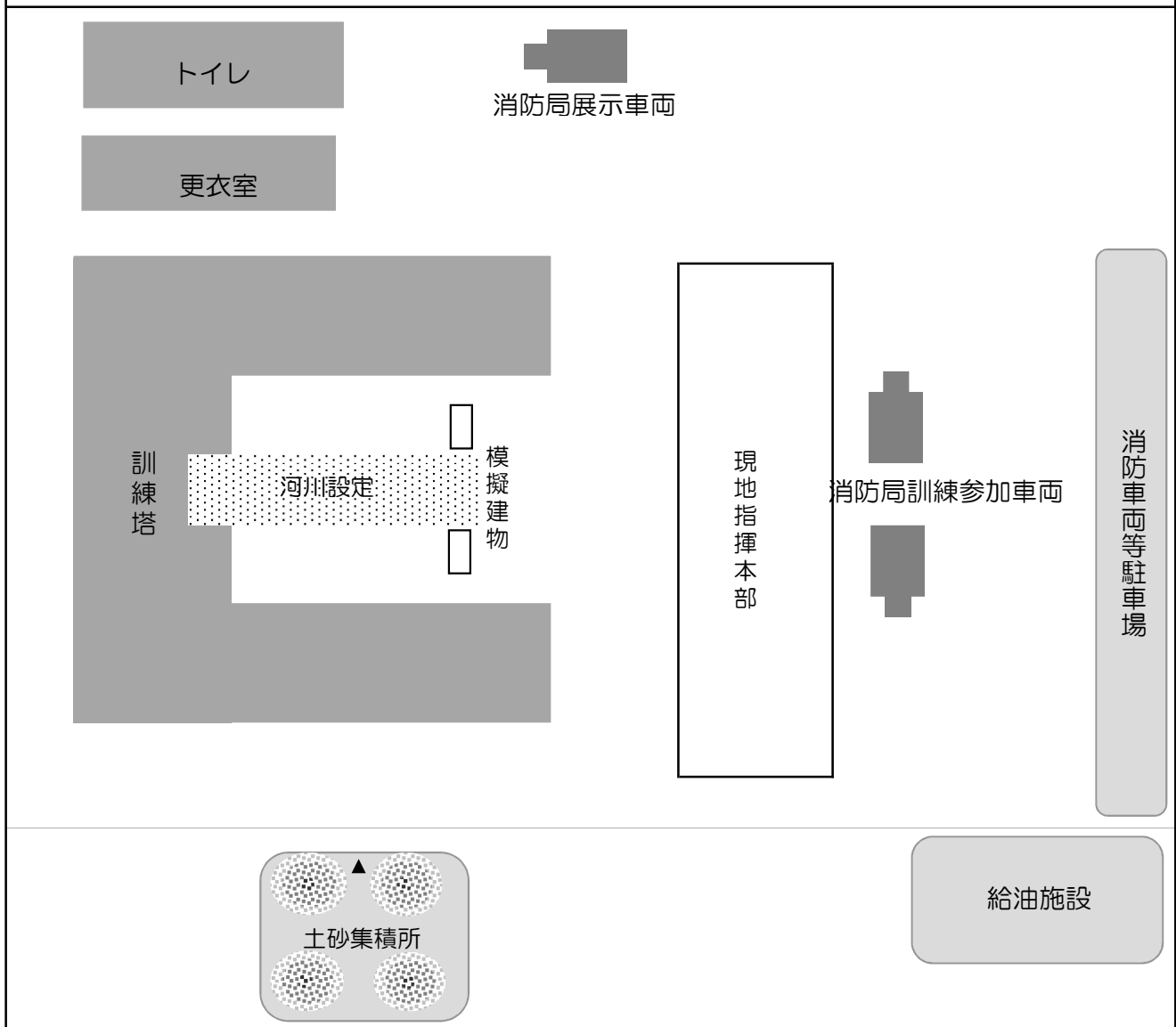
- 1 引地川を使用して実施する。
- 2 訓練視察のため、訓練センターから引地川沿いへ移動する。
- 3 遠距離送・排水システム車は、訓練センター内に展示する。
- 4 詳細な、実施要領は、消防局が別に定める。

【訓練参加者】

消防局

【準備品】

消防局が準備する。



6-9 閉会式

- 1 6-9 遠距離送・排水システム車を活用した排水訓練終了後、訓練センターに戻る。
- 2 閉会式は実施せず、事務局長（防災安全部長）は、本部長（市長）へ訓練終了報告を行う。
- 3 市長挨拶終了後、アナウンスにより訓練を終了を伝え、解散とする。

【準備品】

- (1) 本部長用踏壇 (2) マイク及びマイクスタンド

